

ようこそ香美市へ！

「あんぱん」放送開始から、さらに注目度が高まることが予想される香美市内の観光情報をお知らせします♪

1 龍河洞 ～神秘の地中宮殿へ～

1億7500万年の悠久の時を刻み、今も変化し続ける鍾乳洞で無限世界を感じてみよう！三宝山の地中に広がる全長約4kmの洞窟は、国指定天然記念物および史跡です。かつて洞内に居住していた弥生人が残したとされる壺が、鍾乳石に包まれた「神の壺」など、驚きの造形が見られます。

① 観光コース【観光洞】～時の洞窟～

1km・約40分のコース。幻想的な雰囲気の中多種多様な鍾乳石を見ながら歩けます。常設の洞内プロジェクションマッピングは必見です！

② 冒険コース【灯の洞窟】※予約制

装備を整え道なき道を行く圧倒的な冒険体験！小学生以上のお子さまから楽しめます。

③ 《4月29日～9月末の期間限定》西本洞コース【水の洞窟】※予約制

ヘッドライトを頼りに、地下水の流れを感じながら進むコース。ひと味違う感動が待っています！



天降石



◀ コースの詳細や営業時間などは龍河洞のホームページをご確認ください。

2 やなせたかし記念館 リニューアルオープンしました！

アンパンマンミュージアムのエントランスでは、やなせたかし先生の分身キャラクター「やなせうさぎ」像が新たに登場して、お客さまをお迎えします。また「それいけ！アンパンマン」の世界を体感できる地下のアンパンマンワールドでは、アンパンマンやばいきんまんの姿も新しくなっています。ほかにも新しい仲間が増えていますので、ぜひ探してみてください♪

また、アンパンマンミュージアム4階ギャラリー、詩とメルヘン絵本館、別館の3館をめぐっていただく特別展を開催しています。「やなせたかしぼくと詩と絵と人生と」と題して、初出展の原画原稿をはじめ、先生の歩みを紹介する年譜や、ふだん着用していた衣服や小物を展示しています。晩年の作業機の再現展示などもありますので、「やなせワールド」をじっくり堪能してみてください！

※ スムーズに施設をご利用いただけるよう入館予約制を導入しています。ご来館前には、記念館のホームページからご予約をお願いします。



▲ 記念館のホームページはこちら

3 奥物部ふるさと物産館 リニューアルオープンしました！

休館・改修中だった「奥物部ふるさと物産館」が、全面リニューアルオープンします！1階にレストラン、2階にフリースペース、ギャラリー、アトリエを設け、薪ストーブやオープンテラス、ダム湖が望めるバルコニーも備えた、明るく開放的な空間に生まれ変わりました。

集落活動センター奥物部推進協議会が指定管理者となって、レストラン運営とさまざまな体験メニューによって、**物部ならではの魅力**を発信し、地域内外の交流を生み出します。レストランは4月16日（水）から営業開始予定ですので、ぜひご利用ください！

【営業情報】※年末年始（12月29日～1月3日）は全館休業となります。

◎ 物産館本館：営業時間 9時～17時 ※定休日なし

◎ ふるさと市：営業時間 7時～17時 ※定休日なし

◎ レストラン「En soleil（アン ソレイユ）」：

営業時間 ※定休日：水・木曜日／※ラストオーダーは各終了時刻の30分前

《平日》11時～16時 ※17時からディナー営業（要予約）

（ランチタイム：11時～14時／カフェタイム：14時～16時）

《土日》8時～16時 ※17時からディナー営業（要予約）

（モーニング：8時～10時30分／ランチタイム：11時～14時／カフェタイム：14時～16時）

※定休日が祝日の場合は営業しますが、翌平日が振替休業日となります。



第3回 やなせ先生とゆかりのある方々のご紹介

今回は、四万十市在住のペンネーム「みなみ波子」さんです。波子さんは、やなせ先生が編集長をされていた雑誌『詩とメルヘン』が大好きで、これまでご自宅で保管されていましたが、昨年11月に、これらを香美市に寄贈していただきました。匿名希望ということでペンネームでのご紹介ですが、なんとこのペンネームは、当時『詩とメルヘン』に投稿していたときに、実際に使用していたペンネームだそうです！



Q：先生を好きになったきっかけは『詩とメルヘン』とのことですが、『詩とメルヘン』を知ったきっかけは何ですか？

A： 私は高知市内の大学に通ったんですが、同じ下宿先の同級生に「あなたも好きそうだから」と見せてもらったのがきっかけです。初めて見た時、すごくきれいな表紙に一目ぼれして、その次の号から、本屋さんで見つけるたびに購入するようになりました。友達に感謝です（笑）

Q：『詩とメルヘン』の良さを教えていただけますか？

A： 初めて雑誌を見たときは、それまでにない色合いの雑誌で、鉄砲で撃たれたようでした。先生が書いた編集前記（※『詩とメルヘン』には編集後記だけでなく前記もあった）を読むと、先生はご自身の弱さも含めて、とても正直に気持ちをつづられていて、そうなるを買わざるを得ませんでした。それで編集後記を読んだら、投稿された詩や作品はすべて目を通して書かれていて、掲載された詩や最終選考の作品すべてにも一言二言の感想をくださっていて、先生のやさしさが伝わりました。

Q：波子さんは詩の投稿もされていたとお聞きしました。

A： あまり送らなかったもので、全部で50編くらいですかね。良いものが書けた時に一つずつ出したりしました。初めて最終選考に残ったときは、それで満足していたんですが、先生が四万十市に来たことがあって出待ちをしたんです。そしたらその後に掲載されて、先生、私のこと覚えてくださっていたんですね（笑）当時、掲載通知を初めて見た時は、身体が宙に舞うような感じでした。

Q：先ほどお話に出た、出待ちをされたときの先生の印象を教えてください。

A： お会いしたのはやなせ先生が65歳くらいの時で、先生の講演があったんですが、「この階段を絶対降りてくる！」って私一人になるまでずっと待ってなんとかお会いできました。「10年くらい『詩とメルヘン』を見てます。詩も送ってます。毎回没ですけど！」って。詩を掲載してくれたのも「高知の果てに行ったら一人出待ちしてくれた子がいたな～」って思い出してくれたのかも（笑）先生は、本当にそのままのおやさしい印象で、ニコッと笑顔を返してくれて握手もしてくれました。

Q：波子さんにとって大事な『詩とメルヘン』を寄贈した理由を教えてください。

A： 漫画や雑誌をたくさん持っていたんですが、生前整理で少しずつ片付け始めていました。でも『詩とメルヘン』だけは捨てられず、バレないように押入れに隠してたんです。図書館への寄贈も考えていたときに「あんぱん」の放送が決まって、まず地元にお話をしたんですが、250冊を超える展示や保管はなかなか難しいみたいで（笑）そこで、香美市さんがずっと探していると教えていただいたので、これは先生が導いてくれたのかなって、なにかご縁を感じます。行き場所があって本当にうれしいです。



Q：最後に、「あんぱん」に期待していることはありますか？

A： 先生の愛や正義、やさしさに裏打ちされたもの、そして暢さんとの出会いなどが、どうやって描かれるのかすごく楽しみにしています！

「アンパンマン」以外のやなせ先生のことも、ぜひ知ってほしいという波子さんのありがたいご意向により、寄贈いただいた『詩とメルヘン』は現在、香美市立図書館（本館「かみーる」の中央展示架）で展示・（一部）貸出をしています。皆さんもぜひ、やなせ先生のやさしさに触れてみてください！みなみ波子さん、本当にありがとうございました！ 【展示期間：3月21日（金）～4月22日（火）】